

羽曳が丘医療福祉複合計画（城山病院・有料老人ホーム・SPD センター）



写真（上）：敷地東側のニッ池から望む（手前右側が有料老人ホーム、奥が病院）
 写真（右上）：敷地東側から病院と進入路を望む
 写真（右下）：敷地南側から病院と中庭を望む

事業主体：医療法人春秋会、株式会社シップコーポレーション、春秋ライフ株式会社

所在地：大阪府羽曳野市

開発面積：約 3.8ha

治水対策：【流域 1】病院地下貯留方式（容量約 1,400 m³）～主として病院用地および SPD センター用地
 【流域 2】老人ホーム地下貯留方式（容量約 500 m³）～主として介護付有料老人ホーム南側用地
 【流域 3】駐車場貯留方式（容量約 150 m³）～職員用の駐車場用地

総土工量：約 6.0 万 m³

設計期間：2003 年 9 月～2004 年 12 月 14 日（当初開発許可まで）

造成工事：2004 年 12 月着工～2006 年 5 月竣工

建築工事：2005 年 9 月着工～2006 年 5 月竣工

南大阪の羽曳野市で 28 年の歴史を有し、地域の中核的な役割を果たしてきた城山病院の移転・新築計画。3 事業者による医療福祉複合開発計画として、羽曳野市主催の事業コンペに当選、土地の譲渡を受けた後、3 敷地に分割し、病院、有料老人ホーム、SPD センターを整備した。

敷地は羽曳野丘陵のほぼ頂部にあり、東側には金剛葛城山脈を望むことが出来る、風光明媚な場所に立地している。敷地の北面、西面、南面は公道に隣接し、東面はニッ池（農業用ため池）に面しているが、敷地に起伏があり、接道する道路高にも高低差が大きいいため、その高低差を生かし建物の 1 階レベルと 2 階レベルそれぞれにアクセス出来る計画としている。その他設計上で留意した主な点は以下のとおり。

- ① 外周部にあった既存の樹木は極力保存を図った。特に敷地北側の 4 本のクスノキの大木については擁壁を設置することにより保全し、近隣からの景観にも配慮した。
- ② 洪水調整池は地下貯留方式を基本として、土地の有効活用とコストダウンを図った。
- ③ 場内土工量バランスを図り、土の場外搬出を極力避ける計画とした。
- ④ 工事工程の短縮を図り、都市計画法第 37 条第 1 項（建築承認申請）の承認を受けて、造成工事と併行して建築工事の施工が可能となるように計画・実行した。